

緑の風 FAX版



NO. 71 2019年 1月25日 JR東労組

J R 東 労 組 ホ ー ム ペ ー ジ

沖縄県全域での 投票実施が確実！

県民投票 に関して 3 択案を 県議会が合意

米軍普天間飛行場の名護市辺野古移設の賛否を問う2月の県民投票に関し、沖縄県が不参加を表明した5市（宜野湾、宮古島、沖縄、うるま、石垣）に対して、投票の方法を「賛成」「反対」の2択から「賛成」「反対」「どちらでもない」の3択に増やすことを条件に参加を打診しました。

1月24日には、沖縄県議会の与野党各会派は選択肢を3択に増やす方向で合意しました。



沖縄県民投票の選択肢について協議する、県議会各会派による会議＝24日、沖縄県議会で

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の移設に伴う名護市辺野古の新基地建設賛否を問う2月の県民投票まで一月月となった二十四日、同県議会の与野党各会派は、選挙方法を「賛成」「反対」「どちらでもない」を加えた三択に増やす方向で合意した。二十九日に県議会の臨時会で条例改正案が全会一致で可決される見通し。不参加を決めていた五市長も参加の意向を示し、県全域での投票実施が確実になった。

「研究者」「新基地は遺憾」

「反対5市参加意向」

不参加を表明していた各会派との協議後、「県議会で（三択案が）全会一致で可決されれば、参加する」と（五市長から）確認でき、新里米吉議長に説明した。

「玉城デニー知事は全域実施が確実になったことを受け、新里米吉議長に説明した。」

「だ」と明らかにした。その上で「さまざまな政治状況も鑑みながら決断した」とも説明した。

2019.1.25 沖縄 全域で県民投票 辺野古賛否 3 択案 県議会合意

電話で「良かった」と話した。新里氏が記者団に明らかにした。

条例改正案は知事が県議会に提案する見通し。

県は、不参加を表明して準備が進んでいない五市の投票日を二月二十四日から一週間先送りする」とも検討している。

昨年十月の県議会では、自民党などが「やむを得ない」「どちらとも言えない」を加えた四択とする条例案を提出したが、否決された。不参加を表明した五市からは二択に対し、不満の声が上がっていた。

1月25日 東京新聞

政治・社会の動きに関心を持ち 平和・人権・民主主義を守り抜こう！！